

 enokojima creates osaka enoco 大阪府立 江之子島文化芸術創造センター	enocoについて ABOUT ▼	フロアガイド FLOOR GUIDE ▼	enocoのつかいかた HOW TO USE ▼	空き状況 AVAILABILITY ▼	アクセス ACCESS ▼	プラットフォーム 形成支援事業 PLATFORM >
	クリエイティブルーム 入居者募集 CREATIVE ROOM ▼	サポーター募集 SUPPORTER ▼	メールニュース登録 MAIL NEWS ▼	Q & A Q&A ▼	お問い合わせ INQUIRY ▼	大阪府20世紀 美術コレクション COLLECTION >

イベント 10.25

enocoディスカッション

シンガポールの事例に学ぶクリエイティブなまちづくり

[トップ](#) >> [アーカイブ](#) >> enocoディスカッション「シンガポールの事例に学ぶクリエイティブなまちづくり」

このページの情報は、終了した事業に関するものです。

「クリエイターがまちづくりにかかわり、まちを変えていく」その真相に迫る



「enocoディスカッション」では、シンガポール都市再開発庁（URA）ディレクターのEliza Choo氏をお迎えし、前日（10/24）におこなわれるOsaka Creative Forumの議論を受けて、シンガポール国家開発において、気になる点をさらに深く追及します。

シンガポールの都市再開発庁（URA）は各政府機関と連動しながら、さまざまなプロジェクトを成功させてきています。その一つである「ギルマン・バラックス」は、旧英国植民地時代の軍用地跡（6.4ヘクタール）を、シンガポールの新たなアート発信地として2012年9月に誕生させたプロジェクトです。新たに生み出したエリアに、アーティストやクリエイターがどのように関わっているかの事例について伺いながら、クリエイターがまちづくりの中で、どのように活躍しているか？クリエイティブなアイデアが活かされる社会の仕組みとは一体どのようなものなのか？という点について掘り下げていきます。クリエイターやまちづくり関係者のみなさまのご参加をお待ちしております。

また、当日はenocoカフェにて交流会を開催予定です。こちらもぜひご参加ください。

⇒ [enocoディスカッション ちらし\(PDF\)](#)

開催概要

enocoディスカッション

パネリスト：Eliza Choo、木下 光、福岡孝則、甲賀雅章、忽那裕樹

日時：10月25日（土）15:30～17:30

会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] 4Fルーム2

参加費：1,000円

定員：50名（事前申込制・先着順）

主催：大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]

交流会

日時：10月25日（土）18:30～20:30

会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] B1Fカフェ

料金：1,000円（事前申込制、軽食・ワンドリンク込）

申込方法

- ・ 必要事項（代表申込者、メールアドレス、所属、肩書、電話・FAX番号、参加者名、参加人数）を記入し、FAXもしくは、メール（※）でお送り下さい。
※メールの方はタイトルを「enocoシンポジウム申し込み」として下さい。
- ・ 申込の確認後、事務局からメールもしくはFAXでご連絡させていただきます。
- ・ 先着順で受け付けます。（定員50名）
- ・ 参加申込受付を受信して申し込み完了となります。 ※参加費は当日受付でお支払いください。

申込み・お問合せ先：江之子島文化芸術創造センター [enoco]
(Tel) 06-6441-8050 (E-mail) art@enokojima-art.jp

パネリスト紹介



Eliza Choo

シンガポールの国家開発省（MND: Ministry of National Development）土地利用計画機関、都市再開発庁（URA: Urban Redevelopment Authority）アーバンデザイン1課ディレクター。

シンガポール国立大学建築学科を1998年に卒業し、その後URAの奨学金により、アメリカのコネル大学建築学科で学び、2001年に卒業。既存の都市環境を変えていくことへ強い関心を持ち、2001年にURAに入庁して以来、ギルマン・バラックス・アート地区、ホランド・ビレッジ・アイデンティティ・ノード、バヤレバー、カラン川成長地域、シンガポール川などのプロジェクトに携わっている。シンガポール川プロジェクトでは、URAのプレイスマネージメント部門や、シンガポールリバーワンという周囲の利害関係者や事業主から成るNPO団体と協働し、公共空間をつくり、その環境をどのようにマネジメントするかという視点から都市計画プロジェクトを遂行している。



木下 光

1968年福岡県生まれ。1992年京都大学工学部建築学科卒業、1996年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程中退。関西大学工学部建築学科助手、専任講師を経て、2013年シンガポール国立大学客員研究員。現在、関西大学環境都市工学部建築学科准教授。日本建築学会論文奨励賞（2005）、日本建築学会技術部門設計競技佳作入選（2009）、沖縄の新たな発展につなげる大規模基地返還跡地利用計画提案コンペ入選（2013）。共著として「建築MAP京都」（TOTO出版）、「建築MAP大阪／神戸」（TOTO出版）、「アジア建築研究」（INAX出版）、「キーワード100」（住まいの図書館出版局）、「中村家住宅のひみつ〜琉球赤瓦の屋根に学ぶ〜」（遊文舎）などがある。アジアにおける公設市場及び開かれた公共空間のデザインと管理運営やクールルーフ・ルーフスクープとしての瓦の再構築、都市住宅における敷地計画・住環境形成、戦後日本の都市デザイン論などの研究を行っている。



福岡孝則

1974年藤沢市生まれ。米国公認登録ランドスケープアーキテクト。東京農大造園学科、同大学院造園学専攻、ペンシルバニア大学芸術系大学院ランドスケープ専攻修了。米国Hargreaves Associates, Gustafson Guthrie Nichol Ltdを経てドイツ Atelier Dreiseitl GmbHのPMとして中東やアジアの持続的都市・環境デザインプロジェクトを担当。2012年6月より現職。Fd Landscape代表。神戸大学大学院工学研究科建築学専攻 持続的住環境創成講座 特命准教授



甲賀雅章

静岡市生まれ。1991年株式会社シーアイセンターを設立。広義の意味でのデザイン、文化戦略を、21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、組合、商店街、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動を展開。CI戦略、ブランディング、コミュニケーションデザイン、新商品開発、新業態開発、空間プロデュース、イベントプロデュースと、その活動領域は広く、1992年から「大道芸ワールドカップ I N静岡」のプロデューサー、2009年ソーシャルデザイン研究所を設立。2011年からは川根本町文化会館の事業パートナーとして企画運営に携わる。2012年から大阪府江之子島文化芸術創造センターの館長に就任。2012年よりバンコクで開催されるSiam Street Festのプロデューサー、2013年からは「大阪国際児童青少年アートフェスティバル」のプロデューサーに就任。2014年4月からは、一般社団法人「劇団KIO」の執行責任者。



忽那裕樹

1966年大阪府生まれ。大阪府立大学農学部緑地環境工学科卒業。景観・環境デザインをはじめ、まちづくりの活動や仕組みづくりまで、幅広いプロジェクトに携わる。庭園をはじめ公園や広場、大学キャンパス、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。また、パークマネージメント、タウンマネージメントを通して、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わり、現在、官民協働の場として設立した水都大阪パートナーズ及び江之子島文化芸術創造センターのプロデューサーを務めている。NPOパブリックスタイル研究所理事長。

Osaka Creative Forum まちの魅力のつむぎ出しかた
—まちが魅力的であり続けるためのプラットフォームとは？—

都市魅力戦略の先進事例の紹介とパネルディスカッションを行いながら、これからのまちづくりの姿について考えます。

日時：10月24日（金）18:00～


会場：朝日生命ホール（大阪府大阪市中央区高麗橋4丁目2-16）

参加費：1,500円

定員：300名（申込先着順）

申込み・お問合せ先：江之子島文化芸術創造センタープラットフォーム部門

TEL:06-4964-5151/Mail:ishizuka@enokojima-art.jp（担当：石塚）

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	ツイート	
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校		
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			